

1

次の計算を筆算でしましょう。

(1) 2.1×3.4

$$\begin{array}{r} 2.1 \\ \times 3.4 \\ \hline 84 \\ 63 \\ \hline 7.14 \end{array}$$

1けた
1けた
2けた

(2) 0.6×1.9

$$\begin{array}{r} 0.6 \\ \times 1.9 \\ \hline 54 \\ 6 \\ \hline 1.14 \end{array}$$

1けた
1けた
2けた

(3) 4.2×5.3

$$\begin{array}{r} 4.2 \\ \times 5.3 \\ \hline 126 \\ 210 \\ \hline 22.26 \end{array}$$

積の小数点の位置は、かけられる数とかける数の小数部分のけた数の和が、積の小数部分のけた数になるようにします。

(4) 6.4×2.7

$$\begin{array}{r} 6.4 \\ \times 2.7 \\ \hline 448 \\ 128 \\ \hline 17.28 \end{array}$$

(5) 8.93×2.5

$$\begin{array}{r} 8.93 \\ \times 2.5 \\ \hline 4465 \\ 1786 \\ \hline 22.325 \end{array}$$

(6) 0.05×0.08

$$\begin{array}{r} 0.05 \\ \times 0.08 \\ \hline 0.0040 \end{array}$$

2

次の計算を筆算でしましょう。

(1) $6.3 \div 1.5$

$$\begin{array}{r} 4.2 \\ 1.5 \overline{) 6.30} \\ \underline{60} \\ 30 \\ \underline{30} \\ 0 \end{array}$$

- ① わる数が整数になるように、小数点を右にうつします。
- ② わられる数の小数点も、①でうつしたぶんだけ右へうつします。
- ③ 商の小数点は、わられる数のうつした小数点にそろえてうちます。

(2) $1.44 \div 0.6$

$$\begin{array}{r} 2.4 \\ 0.6 \overline{) 1.44} \\ \underline{12} \\ 24 \\ \underline{24} \\ 0 \end{array}$$

※次のページにも、問題があります。

(3) $4.23 \div 1.8$

$$\begin{array}{r}
 2.35 \\
 1.8 \overline{) 4.23} \\
 \underline{36} \\
 63 \\
 \underline{54} \\
 90 \\
 \underline{90} \\
 0
 \end{array}$$

(4) $24 \div 0.75$

$$\begin{array}{r}
 32 \\
 0.75 \overline{) 24.00} \\
 \underline{225} \\
 150 \\
 \underline{150} \\
 0
 \end{array}$$

(5) $0.91 \div 0.28$

$$\begin{array}{r}
 3.25 \\
 0.28 \overline{) 0.91} \\
 \underline{84} \\
 70 \\
 \underline{56} \\
 140 \\
 \underline{140} \\
 0
 \end{array}$$

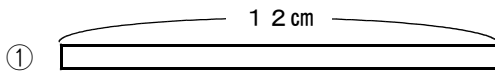
(6) $26.69 \div 3.14$

$$\begin{array}{r}
 8.5 \\
 3.14 \overline{) 26.69} \\
 \underline{2512} \\
 1570 \\
 \underline{1570} \\
 0
 \end{array}$$

3

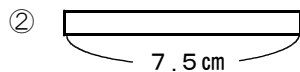
次の問題に答えましょう。

- (1) 12 cmのテープ①と、7.5 cmのテープ②があります。テープ①の長さはテープ②の長さの何倍でしょうか。

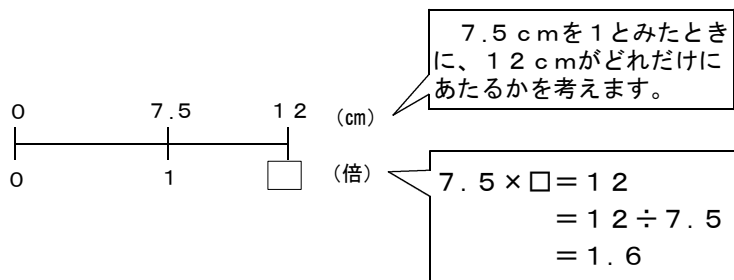


式

$$12 \div 7.5$$



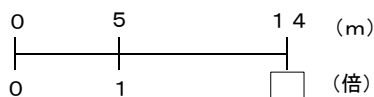
$$1.6 \text{ 倍}$$



- (2) 5 mの赤いロープと14 mの白いロープがあります。赤いロープの長さをもとにすると、白いロープは赤いロープの長さの何倍でしょうか。

式

$$14 \div 5$$



答え

$$2.8 \text{ 倍}$$